

高橋けいすけ

県議会報告

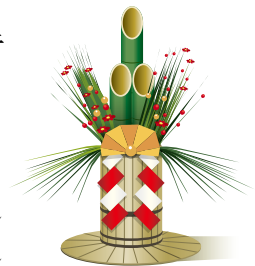
No. 55	自宅/山形市高堂1-5-20-3 ☎023-643-4847
2025年1月6日	県議会/県政クラブ執務室 ☎023-630-3211
発行人/高橋啓介県議会議員	



新春のお慶びを申し上げます。

昨年は元日から能登半島地震で大揺れ、県内でも未だかつてない大水害に見舞われ、尊い3名の生命が奪われてしまいました。心から哀悼の意を表しますと共に一日も早い復興と災害の教訓を生かした県土づくりをめざして努力して参ります。

暗いニュースがあった反面、嬉しい話も飛び込んできました。昨年8月のパリオリンピックにおいて、女子レスリング最重量級で日本人選手として史上初めて金メダルを獲得した鏡優翔選手。多くの県民に感動と勇気を与えてくれました。昨年の11月24日には、「山形県県民栄誉賞」が授与されました。また、モンテディオ山形は9連勝で締めくくり、リーグ4位という好成績でJ1昇格プレーオフに進出。大きな期待をしましたが惜しくも負けてしまい昇格はなりませんでした。今年に期待したいですね。そして、相撲の大関 琴櫻関の初優勝。横綱昇進が楽しみになってきました。



5期目の挑戦

マスコミ報道でも吉村知事の動向が注目を集めていましたが、12月定例議会の代表質問に応え、5期目への出馬を表明されました。出馬の決意に至った経緯が述べられましたが、昨年7月25日からの豪雨災害によってこれまで経験した事がない大災害に



地方分権に関する話し合い 12/6

見舞われ、その復興のため県民とともに頑張る決意が表明されました。

これまで4期16年にわたって県民の幸せを求めて努力して頂いて参りました。日本総合研究所（監修 寺島実郎氏）が客観的指標（今年は85指標）によって2年毎に調査しています47都道府県幸福度ランキングの順位の推移（31位⇒27位⇒22位⇒10位⇒8位⇒7位）で、今年は8位とワンランクダウンしましたが、着実な歩みをみせています。特に、長年課題として取り組んで参りました労働者の正規化政策におきましては「正規雇用率」が全国1位にランク付けなっております。

これからも「住んで良かった山形」をめざして、頑張って参ります。

今年一年、皆様方にとりまして輝かしい年になりますようご祈念申し上げます。

12月 定例議会

去る12月3日から同月20日まで12月定例議会が行われました。この度の補正は、人事委員会勧告を受けての職員の給与引き上げ、7月の豪雨に対する更なる補正、そして国の補正を受けて、16日には追加提案が行われました。

その主なものとして、物価高騰の影響を受ける生活者支援として1,759百万円。更に、防災・減災、国土強靱化の推進策として43,854百万円等で、補正後の一般会計総額として769,927,456千円となりました。

補正の主な事業

1 物価高騰の影響を受ける生活者への支援 1,759百万円

- ◎プレミアム商品券等発行事業（各市町村：1,000円×人口） 1,046百万円
- ◎一般家庭等におけるLPガス料金負担軽減 [R7.2月分料金から一括2千円値引き] 645百万円
- ◎ひとり親世帯への県産米の追加提供（児童扶養手当受給世帯に対して県産米「はえぬき」10kg） 68百万円

2 防災・減災、国土強靱化の推進（公共事業） 43,854百万円

(1) 土木公共（29,219百万円）

- ◇道路（橋りょう等の長寿命化対策、地域間の交流・連携強化のための道路改良、通学路の安全確保を図るための歩道整備等） 13,869百万円
- ◇河川（最上川水系流域治水プロジェクト等に基づく河川整備、ダム管理設備の更新等） 10,458百万円
- ◇砂防（土砂災害防止のための砂防えん堤や地すべり防止施設の整備等） 3,634百万円
- ◇都市計画街路事業等 813百万円
- ◇港湾等の長寿命対策等 445百万円

(2) 農林公共（14,539百万円）

- ◇耕地（生産効率の向上を図るための農地の区画整理・用排水施設整備、防災減災対策の強化に資するため池整備等） 13,067百万円
- ◇林務（木材安定供給のための林道整備、土砂流出に備えた治山工事等） 1,079百万円
- ◇水産（漁港における防波堤の改良、航路の浚渫等） 393百万円

(3) 国直轄事業費負担金（農業水利、治山）（96百万円）

3 諸課題への対応 69百万円

- ◎7月25日からの大雨災害の被災者に対する冬の備え等に向けた支援 19百万円
 - ・暖房費支援：1万円×床上浸水以上の被災世帯
 - ・除雪支援：広域除雪ボランティアに対する交通費・宿泊費等の助成（上限3万円）
 - ・県産米支援：床上浸水以上の被災世帯に対して県産米「はえぬき」10kg
- ◎市町村が取り組む松くい虫被害木駆除事業への支援 50百万円

大雨被害総額 約1,111億円

(令和6年12月23日現在)

昨年7月の大雨による被害は現在も調査継続中ですが、山形県としてはこれまでにない約1,111億円の被害総額になっています。(公共土木施設被害が約755億円、農林水産業被害が約327億円)

これまで、政府や全国の自治体、民間企業・団体など、多くの方々からの支援をいただき被災された方々の状況を把握し、災害への応急対策を進めてきております。このうち、災害発生時に116箇所あった県管理道路の規制箇所は、現在5箇所となっています。また、最大で3,383人の方々が避難所での生活を余儀なくされていましたが、戸沢村、鮭川村に建設しました応急仮設住宅への入居等に伴い、避難所での生活は解消されています。

さらに、復旧工事に向けた公共土木施設等の災害査定が進められ、本格的な復旧・復興の取組みが行われる段階まで来ていま



流出した土砂に埋まる家屋（北青沢）

す。これまでの「災害対策本部」から「復旧・復興対策会議」に移行し今後進んで参ります。

なお、戸沢村蔵岡地区の集団移転に関しては、1月から、県職員を派遣して村と連携して取り組む事となっております。

この度の災害で痛感した事の一つに、「自治体職員の長年にわたる削減が災害対応や復興の足かせになっている」と強く感じました。

総務常任委員会質疑…

所管の委員会で、昨年4月に「指定管理者制度」に関する労務費対応について質問しておりました。その際、総務部長からも「指定管理者の状況や意見を把握していきたい」との答弁を頂いておりましたので、その後の対応を質しました。

平成の時代から長年にわたって労働者の賃上げが行われず、その結果実質賃金が減り続けてきました。一昨年からようやく賃金が上がる流れが社会全体に広がっています。

しかし、県や市町村の施設を維持管理する「指定管理者」制度の所にあるは、必ずしもその恩恵を受けておりません。仮に、指定管理期間が5年契約の場合、期間中の賃金が上がる仕組みにはなって

おりません。

そこで、この度の常任委員会におきましても賃金のスライド制を提案させて頂きました。若干の改善策は示されましたが、抜本的改善策にはなっておりません。

この制度がスタートしたのが平成18年度からですが、当初の考え方は「民間の専門性を活かす」という考えでした。しかし、事業を検証してみると「安上がり行政」の最たるものになっています。

全国的には指定管理料が安く、そのため事業者が見つからず辞めている所も出ています。

若い方々が安心して働ける持続可能な制度になるよう今後とも対応して参ります。

高規格道路

新庄市枅形⇔戸沢村津谷

開通

昨年の12月7日に、新庄酒田道路の一部を構成する国道47号新庄古口道路の新庄市枅形から戸沢村津谷までの区間が開通しました。

このたびの開通区間は、令和3年に地すべりが発生し、その対策工事のため開通時期が見直され、今回無事に新庄古口道路が全線開通となりました。

現況の国道47号は、昨年の7月の大雨で道路崩壊による全面通行止めが発生しましたが、このたびの開通によりダブルネットワークが形成され、災害発生時における信頼性が格段に向上したといえます。

更に、救急搬送の迅速性や物流の効率化による産業振興などにも大きく寄与するものと期待しております。昨年暮れに現場を視察して参りました。

高校生による議場演奏会

昨年の12月11日に県立上山明新館高等学校吹奏楽部による議場演奏会が行われました。名曲の数々を演奏して頂き、傍聴も満席で充実した時間を過ごさせて頂きました。議会を身近に感じてもらう事業の一環として取り組みを行っております。

素晴らしい演奏を本当に有難うございました。



〔請願〕

日米地位協定の見直しを

この度の議会に日米地位協定見直しの請願が提出されました。戦後一度も見直されることなく、日米の地位協定が続いています。石破総理も、自民党の総裁選挙で見直しを言っておりましたが、総理になった後は言及しておりません。特に、日本においては米軍の活動に対する国内法の適用が原則不適用となっております。

一方、敗戦国のイタリアやドイツでは見直しが行われ、国内法が適用されています。所管の総務常任委員会で審査を行いました、「継続審査」によって請願は採択されませんでした。

来年度の要求概算

6,825億円

令和7年度の当初予算の概算が昨年の12月に示されました。今年度より5%の増額となっております。

内訳としては、人件費が△3.4%・社会保障関係では1.4%の増、公債費は同額、一般行政費等は2.9%の増、投資的経費は35.2%の増で、特に公共災害復旧事業の伸びが267.1%、額にして257億円となっております。なお、今後知事の査定が行われて新年度予算となって参ります。



皆様方からの県政に対するご意見をお待ちしております。TEL・FAX 023-643-4847

高橋啓介ホームページ <http://www.keisuke-t.com>

県議 高橋啓介 検索

